

清水北地区の誇り

☆里山があってウラヤマシイ☆

里山は遊びの場・学びの場に



清水北地区は水田や里山など多くの自然が残る地域。里山には、スギ林や雑木林など多様な森があり、春はカタクリ、山菜、夏はカブトムシ、クワガタ、秋はクリにきのこに紅葉、冬は真っ白な雪景色など、四季折々の素晴らしい自然が広がっている。しかも標高は高くなく、色々な歩道があり誰でも手軽に行くことの出来る身近な里山である。そこで、この素晴らしい里山が住民の憩いの場となるように、自然を生かした地域づくりが進み始めた。



清水北地区里山の会は、草刈りや間伐などのフィールド整備のほか、園児や小学生を対象とした自然教室や観察会、トレッキングなど季節ごとにイベントを開催し、四季折々の里山での体験活動を通じて里山の魅力を発信している。



ギフチョウの生息に必要なカンアオイ類とカタクリ等の春植物が共に生息し、早春には春の妖精「ギフチョウ」が舞う。また、初夏にかけて、希少植物「ササユリ」が咲く。和名は葉の形が笹に似ていることから「笹百合」である。



清水北地区里山の会 事務局

松井 洋輔さん

事務局の松井さんは、「よく里山に年中散歩に行ったり、子どもと遊びに出掛けたりしています。いつ行っても森の表情が違い、常に色んな発見があります。里山はまさに自然のテーマパーク。そんな場所が身近にある清水北地区が私は好きです」と話す。

清水北公民館

住 所／福井市グリーンハイツ5-131

電 話／0776-98-5477

交通機関／京福バス「清水北小学校前」バス停から徒歩3分